

# Deloitte.

デロイト トーマツ



## ESGソリューションサービスを展開する 各社との対談シリーズ：参考資料 ～株式会社ゼロボード様との対談～

デロイト トーマツグループ

(本資料の情報は 2023/11/1時点のものです)

# アンケート回答 (1 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
1	製品概要	ESGソリューションの製品名、製品タイプ、注力領域、製品概要（200文字以内）、セキュリティ関連、価格体系を回答ください。価格体系についてはA4×1枚で補足資料を提供ください。	<p>ESGソリューション製品名（既にローンチされている製品、複数ある場合は主要3製品まで）：                      Zeroboard                      Zeroboard logistics / construction                      Zeroboard for batteries</p> <p>製品タイプ（以下より単一選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SaaS型（基本的なカスタマイズに対応）</li> <li>○ SaaS型（個社要件に応じた柔軟なカスタマイズが可能）</li> <li>○ オンプレミス・ローコード型</li> <li>○ オンプレミス・ノーコード型</li> <li>○ その他（製品概要に記載）</li> </ul> <p>最も注力する領域（以下より単一選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種フレームワークに標準対応した情報開示</li> <li>○ ワークフロー/内部統制/監査証跡/内部管理</li> <li>○ 経営管理/意思決定サポート/マネジメントツール</li> <li>● 非財務情報（GHG排出量等）収集/算定/可視化/モニタリング</li> <li>○ サプライチェーンリスク・機会評価</li> <li>○ 製品/サービス影響評価</li> <li>○ 他社/業界/外部連携プラットフォーム</li> <li>○ その他（製品概要に記載）</li> </ul> <p>製品概要（200文字以内）：                      『Zeroboard』は、温室効果ガス排出量算定・開示・削減までを支援するソリューション。国内外のサプライチェーン排出量、製品別排出量（カーボンフットプリント）のクラウドでの算定と国際的な技術仕様によるデータ連携が可能。算定を入口として、ユーザー企業の課題に合わせたGHG削減ソリューション提供を通して、企業の脱炭素経営をサポート。建設業向け、物流業向けの業界特化型クラウドも提供中。</p> <p>セキュリティ関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ISMS認証取得（ISO/IEC27001など）</li> <li>■ 認証機能（ログインなど）</li> <li>■ 機能制限・権限制御</li> <li>■ データの暗号化</li> <li>■ 不正検知・監視機能</li> </ul> <p>価格体系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> パッケージ料金制</li> <li><input type="checkbox"/> 従量課金制</li> <li><input type="checkbox"/> その他の価格体系（下記に記載：50文字以内）：</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 詳細条件をお伺いの上お見積りさせていただいております。</p>
2	主要ターゲット	最も注力する企業規模を選択ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバルに事業展開する大企業</li> <li>○ 主に国内で事業展開する大企業</li> <li>○ 中小企業</li> <li>○ベンチャー・スタートアップ</li> </ul>
3	対象領域	貴社製品が対象範囲とするESG領域を回答ください。（複数選択）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 気候変動・脱炭素（下記より選択）</li> <li>■ Scope1 ■ Scope2 ■ Scope3 ■ 製品カーボンフットプリント</li> <li>■ 資源循環・サーキュラーエコノミー</li> <li>■ 水資源</li> <li>■ 化学物質・汚染の予防</li> <li>■ 自然資本・生物多様性</li> <li>■ 人事・労務</li> <li>■ 労働安全衛生</li> <li>■ 人権</li> <li>■ 調達・サプライチェーン</li> <li>■ 社会貢献</li> <li>■ コーポレートガバナンス</li> <li>■ コンプライアンス</li> <li>■ リスクマネジメント</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他のESG領域（下記に記載：50文字以内）：上記以外で、対応必要項目が今後発生した場合は対応予定です。</p>

# アンケート回答 (2 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
4	基本機能 (インプット)	データのインプットに関して、既実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マニュアル入力</li> <li>■ ファイルのインポート (エクセルやCSVファイルなどの取り込みを想定)</li> <li>■ 社内他システムからの連携・インポート※ (会計、生産管理、人事、廃棄物管理、等を想定)</li> <li>■ 社外他システムからの連携・インポート※ (排出原単位DB、サプライチェーン、顧客、業界プラットフォーム、ESG評価機関DB、等を想定)</li> <li>■ サプライヤー等、外部ユーザーによるマニュアル入力・ファイルインポート等による入力 (取引先からのGHG排出量等を想定)</li> <li>■ 入力エラーチェック機能</li> <li>■ 複数言語対応</li> <li>・対象データ               <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定量情報 (各種活動量等を想定)</li> <li>■ 定性情報 (推進体制、各種方針等を想定)</li> </ul> </li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他のインプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムからの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p>
5	基本機能 (プロセス)	インプットしたデータの処理に関して、既実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データの蓄積・保管</li> <li>■ 傾向分析</li> <li>■ 将来予測</li> <li>■ シミュレーション</li> <li>■ AI連携機能 (例: ESGの取り組みが株価の時価総額に与える影響をAIモデルによってシミュレーション可能、など)</li> <li>■ 単位変換</li> <li>■ 係数換算</li> <li>■ 階層・組織別集計               <ul style="list-style-type: none"> <li>標準対応している階層・組織数を記載ください ( )</li> </ul> </li> <li>■ 報告先毎の換算係数制御 (温対法・省エネ法、GHGプロトコル等を想定)</li> <li>■ KPI自動計算 (下記より選択)               <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Scope1排出量 ■ Scope2排出量 ■ Scope3排出量</li> <li><input type="checkbox"/> リサイクル率 (廃棄物) <input type="checkbox"/> リサイクル率 (水)</li> <li><input type="checkbox"/> 女性管理職比率 <input type="checkbox"/> 男性育児休暇取得率 <input type="checkbox"/> 男女間賃金格差</li> <li><input type="checkbox"/> 人材育成時間・費用 (一人当たり) <input type="checkbox"/> 度数率・強度率 <input type="checkbox"/> 平均年齢・平均勤続年数 <input type="checkbox"/> 離職率</li> <li><input type="checkbox"/> 独立社外取締役比率 <input type="checkbox"/> 女性取締役比率</li> </ul> </li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他のKPI (下記に記載: 50文字内) :</p>
6	基本機能 (アウトプット)	処理結果のアウトプットに関して、既実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 標準テンプレートやダッシュボード画面への出力</li> <li>■ カスタム形式での出力</li> <li>■ 開示・報告フレームワークに対応した出力 (下記より複数選択)               <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 省エネ法 ■ 温対法 <input type="checkbox"/> GRI <input type="checkbox"/> SASB <input type="checkbox"/> TCFD <input type="checkbox"/> TNFD</li> <li><input type="checkbox"/> 米国SEC気候変動開示規則 <input type="checkbox"/> 欧州CSRD・ESRS <input type="checkbox"/> ISSB S1・S2</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 目標未達等の設定基準に基づく自動アラート</li> <li>■ 権限制御               <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社内他システムへの連携・エクスポート※</li> <li>■ 社外他システムへの連携・エクスポート※</li> </ul> </li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他のアウトプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムへの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p>

# アンケート回答 (3 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
7	製品・機能	貴社製品に内包されている気候変動・脱炭素に係る係数を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地球温暖化係数 (GWP)</li> <li>■ スコープ1 換算係数 (地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における排出係数等を想定)</li> <li>■ スコープ2 ロケーション基準への対応係数 (IEA 各国平均係数やIGESのCDMデータベース等を想定)</li> <li>■ スコープ2 マーケット基準への対応係数 (電力事業者排出係数等を想定)</li> <li>■ スコープ3 (係数対応しているカテゴリを以下より選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Cat.1 ■ Cat.2 ■ Cat.3 ■ Cat.4 ■ Cat.5 ■ Cat.6 ■ Cat.7 ■ Cat.8 ■ Cat.9 ■ Cat.10</li> <li>■ Cat.11 ■ Cat.12 ■ Cat.13 ■ Cat.14 ■ Cat.15</li> </ul> </li> <li>■ ライフサイクルインベントリ (LCI) データベース (外部データベースを活用可能)</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他の係数 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>上記係数に関する補足があれば (100文字以内) :</p>
8	導入実績	導入実績について回答ください。 総数 (社、拠点、ユーザー) は全導入実績の合計数で回答ください。 ※ ●以外未回答とさせていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総社数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ● ~10,000 ○ ~100,000 ○ 100,000~</li> </ul> </li> <li>・ 総拠点数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ ~100,000 ○ 100,000~</li> </ul> </li> <li>・ 総ユーザー数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ ~100,000 ○ 100,000~</li> </ul> </li> <li>・ 導入実績の多い国・地域 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本国内 ○ 海外</li> </ul> </li> <li>・ 最も導入実績の多い企業規模 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバルに事業展開する大企業 ○ 主に国内で事業展開する大企業 ○ 中小企業 ○ ベンチャー・スタートアップ</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 外部システムとの接続実績 (主要接続先を3つ以内で記載ください) <ul style="list-style-type: none"> <li>1 : ( )、2 : ( )、3 : ( )</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 導入実績なし</li> </ul> <p style="text-align: right;">※ ●以外未回答とさせていただきます。</p>
9	体制	導入支援体制や標準的な導入期間、導入後のサポート体制について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入支援体制の総人員数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ~10 ● ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~</li> </ul> </li> <li>・ 社外協力ベンダー認定制度 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ある ○ ない ● 検討中</li> </ul> </li> <li>・ 社外協力ベンダーの総人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ● ~10,000 ○ 10,000~</li> </ul> </li> <li>・ 標準的な導入期間 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>● ~1ヶ月 ○ 1ヶ月~半年 ○ 半年~1年 ○ 1年~2年 ○ 2年~</li> </ul> </li> <li>・ 導入後支援体制の人員数 (社内で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>● ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~</li> </ul> </li> <li>・ 導入後支援体制の人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ~10 ● ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~</li> </ul> </li> <li>・ 導入後のサポート機能 (以下より複数選択) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヘルプデスク ■ メール ■ チャット ■ 通話 ■ 左記の多言語対応</li> </ul> </li> </ul>
10	拡張	今後、拡張予定の領域や機能について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡張予定 (200文字以内) : ESG関連機能。詳細はこちらのリンクをご参照ください。 <a href="https://zeroboard.jp/news/press-release/1923/">https://zeroboard.jp/news/press-release/1923/</a></li> </ul>

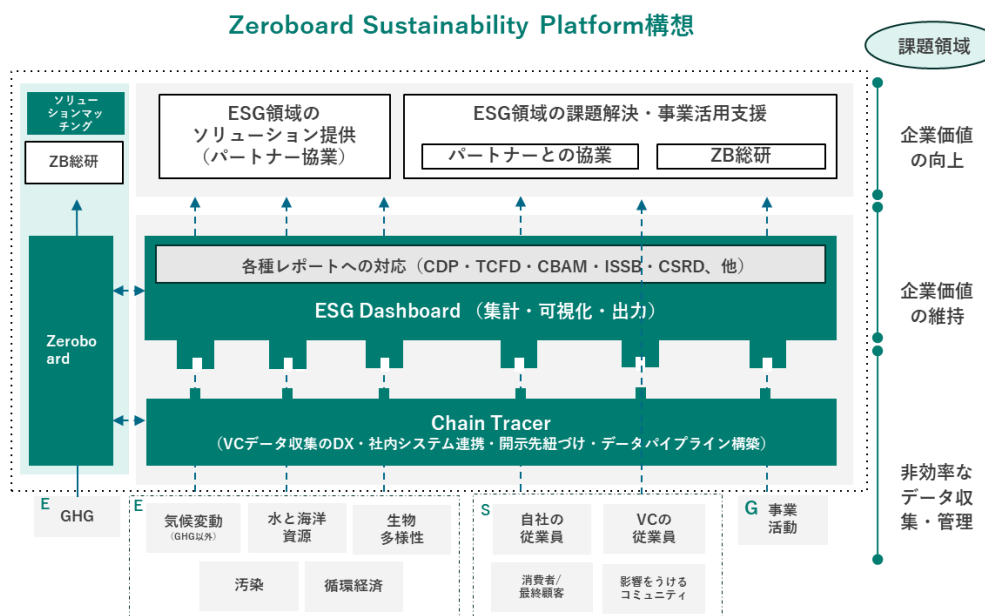
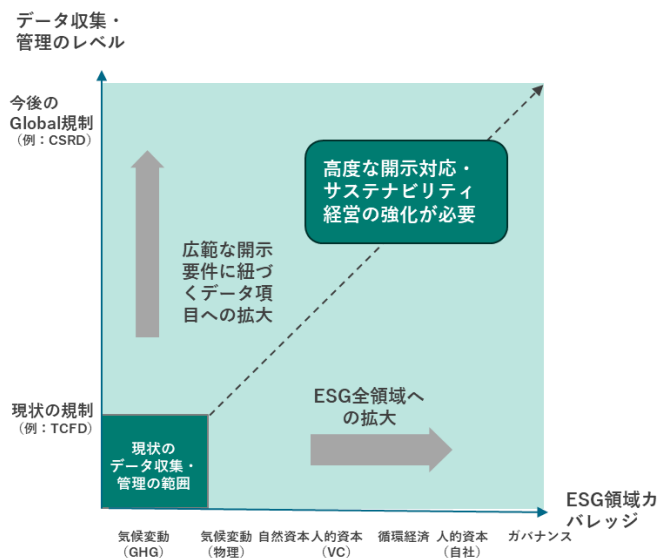
# 株式会社ゼロボード様からのご提供資料

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

高度化・複雑化する企業のESG対応をワンストップで支援し、サステナビリティ経営の強化をサポートするZeroboard Sustainability Platformの提供

Global規制の強化を背景にESG領域の拡大  
要求水準の高度化が見込まれる

プロダクトと専門チーム・パートナー協業を通じ情報収集から  
企業価値の向上までの課題にワンストップで対応



# Deloitte.

## デロイト トーマツ

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（[www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp)）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバル ネットワーク 組織を構成するメンバー ファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数 を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバー ファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバー ファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスク アドバイザリー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、（[www.deloitte.com](http://www.deloitte.com)）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、DTTL、そのグローバル ネットワーク 組織を構成するメンバー ファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301